

人に会えない今だからこそその

子どもの居場所

～サードプレイスの可能性～

人に会えない状態が続いている今、居場所の在り方が見直されています。子どもたちの居場所が失われ、運営の方も悩みを抱えています。そこで、高校内での”居場所カフェ”や生徒に合わせた個別支援活動など、若者の課題と向き合う活動を長らく実践されている田中さんに、「そもそも第三の居場所（サードプレイス）」とは？」「その必要性とは？」「今の状況の中での居場所の在り方とは？」といったお話を伺います。実践者のお話は活動に活かせるヒントがいっぱいです。

今活動している人
これから活動しようと
思っている人
興味ある方
どなたでもご参加ください！

11月3日 (水・祝)

場所：ゆいわーく茅野

開場：14:30

講演：15:00～17:30

要申し込み・参加無料

オンライン参加が可能です

申込フォーム



講師紹介

田中俊英氏 (たなか としひで)

出版社起業、NPO 法人代表のあと、2013年4月より一般社会法人 office ドーナツトーク代表。子ども若者問題（不登校・ニート・ひきこもり等）の支援と、子ども若者ソーシャルセクター（NPO等）への中間支援を行う。

2003年、大阪大学院「臨床哲学」を修了。

主な著書に『ひきこもりから家族を考える』（岩波ブックレット）ほか。

京都精華大学非常勤講師（2013年前期）



諏訪圏域子ども応援

プラットフォームとは…

子どもたちの幸せを願う「ひと・もの・こと」をつなげ、
子どもの育ちを支えるしくみを考え合う場です。

地域の課題解決への行動

さらに

今は表に出ていない問題を
深刻化させない

そのために

それぞれの団体や個人が協働することで
お互いの視点や考え方を補い合い
課題解決の糸口を見つける

地域丸ごとが「みんなのイイ場所」となることを
目指し、行政・団体・企業・個人などが関係を紡ぎます。
あなたも参加しませんか？

・プラットフォームでできること

フードドライブや助成金の情報、
イベントの広報、会員やボランティアの募集、
活動継続のノウハウを共有する…などの情報の
やりとりができるほか、スキルアップのための
学習会などで登録団体間の交流ができます。
また、必要に応じて他団体を紹介したり、
団体同士でコラボしたりと、
皆さんの活動に活かします。

主催：諏訪圏域子ども応援プラットフォーム運営委員会

事務局：信州協働会議 茅野市ちの 3053
電話：090-1865-7933（木村）
メール：kodomoptsuwa@gmail.com

諏訪圏域子ども応援



SDGs 持続可能な開発目標 達成のための
行動を展開しています。

